

栃木県（栃木県宇都宮市、日光市、小山市、足利市）

R5補正
R6当初

15

背景・課題

トルコギキョウ及びりんどうの栽培において、土壌伝染性立枯病の発生が増加し、県内でも深刻な問題となっている。低濃度エタノール土壌還元消毒法は、灌水チューブを用いた処理で取り組みやすく、殺菌効果や環境に配慮した土壌消毒技術として高く評価されている。そのため、現地でその効果と省力性を検証し、技術の普及性等について検討した。

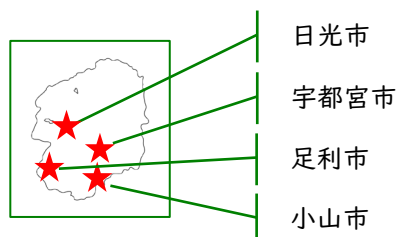
成果目標

○低濃度エタノールを使用した土壌還元消毒法による化学農薬の使用量低減

主な取組内容

土壌還元消毒後に土壌菌密度を調査した結果、土壌線虫、青枯病菌及びフザリウムとも検出限界以下となった。1番花ではほぼ発生せず、2番花でも前年と比べて発生を抑えることができた。

担当農家からは、従来の消毒法に比べて労働時間は概ね同等だったが、薬剤を使用しないことから、作業者の安全性が高いと評価された。



構成員

栃木県経営技術課、農業振興事務所（河内、上都賀、下都賀、安足）、農業者、JAうつのみやりんどう研究会、小山花卉園芸組合、JA足利花き部会、日本アルコール産業株式会社

品目

花き（トルコギキョウ、りんどう）



液肥混入器による低濃度エタノールの投入



かん水チューブによる低濃度エタノール処理の様子



従来の土壌消毒後の立枯病発生状況



低濃度エタノールによる土壌還元消毒後の生育状況

普及に向けた取組

今後は、県内のトルコギキョウ及びりんどうの生産者、生産組織に対して、栽培マニュアルの配付や研修会での事例紹介を通じて当該技術の普及を図る。

問い合わせ先

栃木県農政部経営技術課 グリーン農業推進担当
TEL： 028-623-2285